

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well ウエル おおさか

28
2013.2

特集 平成24年度
大阪府社会福祉大会
子どもさわやか賞表彰式

◎イキイキ ハツラツ
民生委員・児童委員さん
吹田市民生・児童委員協議会

民児協だより
摂津市民児協 / 守口市民児協
八尾市民児協 / 熊取町民児協
高槻市民児協





大阪府社協会長挨拶の様子



子どもさわやか賞の代表受領した
大阪府立桜塚高等学校の生徒代表
3年 雨宮夕夏さん

特集

平成24年度 大阪府民児協連 子どもさわやか賞表彰式 ～10団体が受賞～

日 時 平成24年11月21日 13時～16時 会 場 大阪国際交流センター大ホール



大阪府社会福祉大会にて
表彰を行いました。

11月21日、平成24年度大阪府社会福祉大会が大阪国際交流センターにて開催されました。当日は、大阪府内の民生委員・児童委員をはじめ、多数の来賓が出席し、表彰式、記念講演等が行われました。

また府民児協連では本年度より、「子どもさわやか賞」を実施。本賞は児童の生活が困難な状況にあっても家庭や学校において積極的な生活を送っている子どもや、自主的に地域活動やボランティア活動にいそいそと取り組む子どもたちに対して、本会より贈られる賞です。本年度は福祉活動から被災地支援まで幅広い活動に取り組む府内の10団体が受賞し、大阪府社会福祉大会にて表彰式が行われました。

表彰状授与式では、10団体を代表し大阪府立桜塚高等学校が表彰状と盾を授与されました。

本賞は、子どもたちのさわやかな活動をさらに府内に広げたいため、来年度以降も継続して本会にて表彰していく予定です。来年度のさわやか賞の表彰については第65回大阪府民生委員児童委員大会（5月15日開催予定）にて表彰いたします。



商店街横断幕アート展
 テーマ「人と人をつなぐ～あいさつ～」
 美術授業にて制作、平成24年3月～5月
 岡町商店街を飾る

豊中市

受賞団体の
 主な活動概要
 【民児協からの推薦団体】

大阪府立桜塚高等学校の
 取り組み

桜塚高校では全校を挙げて行政や地域と連携した教育活動を推進しています。また授業や部活動などで様々な地域貢献の取り組みを展開しています。

吹奏楽部やダンス部は地元の行事などで演奏・披露を行うことで地域住民と交流を深め、軽音楽部は老人ホームでの訪問演奏、さらに、地元商店街応援ソングを生徒自ら作詞作曲して商店街を応援、美術専攻生は横断幕を制作して商店街横断幕アート展を開催するなど、高校生が地元商店街や地域の活性化に取り組んでいます。



軽音楽部 おかまち・まちづくり協議会主催「おかま・まちの文化祭」原田神社境内にて、商店街応援ソング「おかまち桜いろ」演奏。背景に、昨年度の横断幕アート作品「おかまちキャラクター」展示

また、書道専攻生は豊中市主催の東日本大震災災害支援ボランティアバスに参加し、岩手県立大槌高等学校へ寄せ書きを作成し、直接訪問してプレゼントしました。その出会いを期に、今年八月、豊中市が被災地岩手県大槌町の復興を応援しようと、両校野球部による「岩手県大槌町復興祈念高校野球交流試合」を豊中コース球場にて開催しました。

さらに、両校の校章が「桜」であることから、こ

桜塚高校の全員が折りました。

折鶴アート

岩手県立大槌高校へ贈ります。



折鶴アート 文化祭制作

れからの交流を誓い合う「さくら協定」を締結しました。
 また、九月桜塚高校文化祭では、テーマ「桜塚から日本を元気に！」を掲げ、全校生徒・教員で「折鶴アート」を制作し、十月大槌高校文化祭へ訪問し寄贈しました。





茨木市

◎沢池小学校区

こども会育成連絡協議会

自治会の清掃活動に合わせて居住地域の公園清掃を行ったり、自治会やマンション内の敬老会への参加、シニアクラブとの交流を行う等清掃活動や世代間交流を活発に行っています。

守口市

◎守口市立第四中学校

吹奏楽部

守口市内の地域活動団体にむけ、年間にさまざまな場所で演奏を行いボランティア活動に励んでいます。

寝屋川市

◎宝町子ども会

地区において自治会や老人会と協力しながら平成17年よりアドプト活動に継続的に取り組んでいます。

東大阪市

◎東大阪市長瀬東小学校

児童会

「朝のあいさつ運動」に継続的に取り組む地域へ元気を届けています。生徒自身が「もっと主体的に」

「より能動的に」をモットーとして取り組んでいます。

富田林市

◎富田林市立小金台小学校

児童会

「みんなの町のクリーン大作成」として校区の清掃活動に取り組んでいます。また朝のあいさつ運動やブルトップ・ペットボトルの回収に取り組み福祉施設へ椅子の寄贈を行っています。そのほか「アイマスク体験」「車椅子体験」「障がい者問題に関する聞き取り学習」等を実施しています。

高石市

◎少林寺拳法

大阪富木道院

公共の清掃活動に取り組み公共の秩序と社会貢献の精神を身に付けています。14年間毎月2回のペースで熱心に活動を継続しています。

田尻町

◎田尻町立中学校

陸上部・男子バスケット部

早朝練習前に学校の敷地内外のゴミ・雑草の清掃活動を自主的に行っています。生徒の自主性によって10年以上継続した取り組みが行われています。

子どもさわやか賞について

【目的】

大阪府民生委員児童委員協議会連合会は、困難な状況にあっても家庭や学校などにおいて積極的な生活を送っている子どもや、地域で高齢者や障がい者等との交流活動、公共の場の美化清掃などのボランティア活動を行っている個人・団体について、子どもたちのさわやかな活動の輪が広がり、大阪が子どもの夢あふれる街となるようにとの願いを込めて「子どもさわやか賞」として表彰する。

【実施主体】

大阪府民生委員児童委員協議会連合会

【表彰対象】

- 困難な状況にあっても、積極的に家族や隣人を助け、いきいきと生活している子ども
- 高齢者、障がい者等との交流活動や介助を行っている子ども
- 公共の場において美化清掃などボランティア活動を行っている子ども
- その他、表彰の趣旨にふさわしい活動を行っている子ども





【施設からの推薦団体】

茨木市

◎救世軍希望館 S・マラソン部

日々のトレーニングを通じて克己心を育み、記録の向上を目指しています。三島地区駅伝大会小学生の部3位、茨木市民駅伝大会小学生の部4位入賞。個人では小学生男子800mで大阪府年度内最高記録を更新しました。またクラブチームに参加し全国小学生クロカンリレー大会に出場した児童もいます。

岸和田市

岸和田だんじり囃子 「笛星(ふえすた)」の 取り組み

児童養護施設あおぞら

児童養護施設あおぞらは、さまざまな理由により保護者と離れて生活する72名の子どもたちと職員が暮らす児童養護施設です。あおぞらでは子どもたちが楽しみながら成功体験を重ねられるように、たくさんの方のクラブ活動が行われています。そのクラブの一つがこの度さわやか賞を受賞した岸和田だんじり囃子「笛星」です。

岸和田だんじり囃子「笛星」は、笛、太鼓、鉦などを演奏するだんじり囃子のクラブで、結成して4年目を迎えます。約10名の子どもで結成され、地域の青年団のお兄さんたちと一緒に練習を重ねています。国立民族学博物館での「音楽の祭日」や、西日本児童養護施設職員研修会に出演したり、高齢者施設へ訪問する等、積極的に活動し、地元岸和田のだんじり囃子を通じて地域交流にも貢献しています。

また、今年8月には岸和田市浪切大ホールにて「にじいろ夢コンサート」が開催されました。このイ

ベントは、あおぞらの姉妹施設である岸和田学園卒園生で女形役者の門戸竜二が子どもたちと一緒に作るコンサートで、今年で3回目を迎えます。当日の衣装のハッピーは施設職員や地域の方と協力して作成する等、多くの方の支えでこのイベントが「かたち」となっています。当日は1000人以上の観客が集まる中、子どもたちは堂々と発表を行いました。このような活動が子どもたちの自信となり、日々の前向きな行動の原動力となっています。



あおぞら にじいろ夢コンサートの様子



～別府国際コンベンションセンターで開催～

全国から約3,700名の
民生委員・児童委員が参加しました!

● 式典・活動交流集会 平成24年10月18・19日

1日目の式典ではまず全国民生委員児童委員連合会の天野隆玄会長が民生委員児童委員として、避難所生活が続く被災地や集中豪雨等で被害を受けた地域に向け全国で果たすべき使命、役割を明らかにしました。つづいて表彰式の後、「サル社会から見える人間社会」サルの子育てに学ぶ」と題し、高崎山自然動物園で30年にわたり2500匹のサルの生態を研究されてきた元国立公園高崎山自然動物園職員の高井猛氏より特別講義がありました。

講義では、「母サルは寝ているときも起きているときも24時間体制で子どもを守るためだけに生きる期間がある、子サルにとっては1対1で愛情を受ける存在が必要。その存在が子サルのその後の生きる基盤となっていく」と説明がありました。

「サルの群れのリーダーにおいては群が安全に暮らせるように常にアンテナを張り巡らせ母サルや子サルを

● 大会宣言

- 一、東日本大震災で被災された人びとや、被災地で活動する民生委員・児童委員のために、全国的な支援を行うとともに、原子力発電所事故の風評被害に対し、人びとの正しい理解が得られるよう働きかけます
- 一、災害に備え、要援護者を地域住民や関係機関とともに支え、地域で助け合える社会づくりとしての防災活動を実践します
- 一、高齢者・障がい者子育て家庭など、支援を必要とする住民が孤立や孤独に陥ることなく、誰もが安心して生活できるよう、相談支援活動や見守り活動を強化し、地域のネットワークづくりを推進します
- 一、児童・高齢者・障がい者に対する虐待の予防や早期発見・早期対応、いじめや犯罪被害から子どもを守る活動を推進します
- 一、基本的な人権についての理解を深め、個人情報取り扱いなど常に活動を見直し、住民や関係機関・団体との信頼関係に基づく活動を進めます
- 一、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりとして、関係制度の充実を図るための取り組みを、各市区町村、各都道府県・指定都市、全国で推進します

見守りながら群全体で子育てを担う体制が構築されている。ここからは児童虐待問題等を抱える人間社会に対して、多くの教訓が読みとれる」など会場からも共感の声があがりました。

式典の最後には震災復興や原発事故の風評被害に対する理解が得られるように働きかけるとするなど6つの大会宣言が採択されました。

● 管外研修の実施 平成24年10月17日

「大分県中津市 中津少年学院を視察」

大阪府民児協連では全国大会の前日に、管外研修を実施。大分県中津市の中津少年学院にて視察を行いました。中津少年学院は九州・四国・中国の各家庭裁判所から保護処分として送致された知的・情緒的障がいのある少年に対して、矯正教育(特殊教育課程)を行う全国3少年院の一つです。

同院では対人関係を構築することが困難な少年たちが協調性を身につけるために、「体験型プログラム」を実施する等、先進的な取り組みを進めています。具体的には仲間と協力しなければ達成できないゲームや教官との交換日記、地元・中津を舞台にした菊池寛の小説「恩讐の彼方に」を読みこみ、被害者の視点に立つて考えるプログラムを実施しています。

また、学院では2009年から社会福祉士を配置。全国でも配置を進めている少年院はまだ3か所しかなく、先進的取り組みとなっています。社会福祉士は出院後の住まいや仕事探し、障がいのある子どもへの手帳の申請等のサポートを行っています。

「今まで少年たちを福祉の制度につなぐ方法が分からなかったが、社会福祉士の配置を進めたことにより、子どもやその家族、さらには地域の関係機関も視野に入れた幅広い支援の実現につながっている」と白井健二院長は言います。

最後に「非行からの立ち直りにはまずは人と人の信頼関係を作り直すことから始まる。民生委員・児童委員のみなさんには少年と地域住民との間に入り、両者をつなぐパイプ役としての役割を期待しています」と結びました。

平成25年度
月番民児協

岬町民児協 活動報告



災害時要援護者支援研修
(愛知県東海市)

社会福祉協議会や地域と連携し、
全員で力を合わせて活動を推進

月番民児協は大正9年に始まり、
当時は大阪府内の方面委員が互いの
活動について知り、事例検討などを通
じ研鑽を図ることを目的に月1回、
当番となる方面(地区)を定め開催さ
れました。現在は年1回当番民児協
の事業や活動を府内の民生委員が共
有する機会として開催されています。
今回は、平成25年度の当番となる
岬町民児協の活動について、ご紹介
をしていただきます。

岬町は、大阪府の南端に位置し、
西は大阪湾に面し、東は山を隔て和
歌山市と接し、北は、阪南市と隣り
合せています。

人口は17,481人、世帯数、7,
812世帯、高齢者比率が30.7%
と府下でも高い比率となっています。

岬町は歴史も古く5世紀後期に
築造された宇度(うど)墓古墳や平
安時代に嵯峨天皇、空海とともに
「三筆」と呼ばれた橋逸勢の墓や、歌
人、和泉式部生誕の地と伝えられて
いる所があります。また、古から風
光明媚であり、新古今和歌集の一首
に歌われた、吹飯(ふけい)の浦や日
本の夕陽百選に選ばれ、かつ、大阪
府下では唯一の自然海岸である長
松海岸があり、多くの人を和まして

います。また、魚釣りでは「とっと
パーク小島」が大人気です。

岬町民生委員児童委員協議会は、
淡輪・深日・多奈川・孝子の4地区、民
生児童委員60人、主任児童委員3
人で構成されています。活動内容は、
役員会議を毎月1回、各地区定例会
議も毎月1回開催しています。また、
高齢者・障がい者(児)関係行事への
参加、三世代グラウンドゴルフの開
催、障がい者施設との交流会の開催、
こんにちは赤ちゃん訪問・子ども安全
デー、行政と地域高齢者の状況把握
と要援護者見守り活動につながる研
修や検討会を開催しています。

部会は4部会があり、各部会の活
動状況は、企画調査部会は、協議会
内の管外研修や日帰り研修等活動
の企画立案。広報部会は、年2回、民
児協だよりの発行を行います。原稿
の収集やレイアウト等、年間22回の
編集会議を開いています。児童部会
は児童福祉の向上を目指し、児童の
登下校の見守りや、児童委員に協力
し中学生の登校の見守りも行ってい
ます。福祉部会は福祉活動の推進を
旨に高齢者施設の見学や介護保険
等の勉強会を実施しています。

各地区は、社会福祉協議会との連
携を密にしています。また、地区福

祉委員会での行動をより機能的に
行うために区長会、長生会、婦人会
等各種団体やボランティアの協力が
あります。淡輪地区では、住民と一
体となつての防災訓練、マップ作り、
河川の清掃を行っています。深日地
区では小学児童と民生・児童委員
(ボランティアを含め)と週1回の高
齢者訪問や各自治区における災害
時の声掛け体制の整備。多奈川地区
においては、毎月、いきいきサロンを
開催し高齢者との交流を図っていま
す。また、小学児童の下校時の見守
りを行っています。孝子地区は、ふれ
あい喫茶を開催しています。これ以
外にも各地区では地域に役立てる
ように日頃からアンテナを広く張る
ように心がけています。

以上、日頃の活動状況と各部会の
活動を列記しましたが、これからも
事務局の協力を得て、全員で力を合
わせて行きたいと思えます。

民生委員の日
街頭啓発活動



三世代ディスコ
大会開催



民生委員・児童委員さん

●吹田市民生・児童委員協議会●

災害時に求められる 民生委員の活動を再確認

東日本大震災を契機に、各民児協では災害時支援活動の拡充を図っています。吹田市民児協でも、災害発生時の民生委員・児童委員の対応に関する全体研修を開催するなど、災害時の民生委員活動について再確認・見直しを進めています。今回は、吹田市民児協のさまざまな取り組みについてご紹介します。

自らの安全を確保し、
支援活動へ

吹田市民児協では、従前から「安心安全カード」を活用し、「災害時一人も見逃さない運動」に取り組んできました。しかしながら、東日本大震災を契機に、南海トラフを震源とする巨大地震も予想される中、災害時に求められる役割とは何かを再度考える必要があると、活動の見直しを進めています。

平成24年11月に開催された全体研修では、「防災と民生委員の関わり」をテーマに、吹田市民児協の松橋継男会長の講演や、4名のパネラーによるリレートークなどを実施。震災発生4日後に被災地支援のために宮城県仙台市に隣接する村田町を訪れるなど、何度も被災地で活動している松橋会長は、現地の



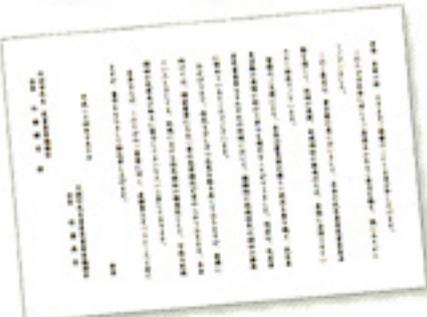
被災地での民生委員の活動について報告する松橋会長。

民生委員・児童委員の方々からヒアリングした地震発生時の行動や今後の課題などについて報告しました。「自宅で被災したが、担当地域の一人暮らし高齢者宅を回れるところだけでも確認しよう」と走り回った「家族の安全を確認後、高齢者世帯に避難を呼びかけたが、避難に時間がかかった」など、各民生委員は自ら被災しながらも、安否確認や避難誘導にあたったことなどを紹介。発生翌日からは各避難所を回り、担当地域の要援護者がどの避難所へ行ったのか確認し、その後は委員同士が協働して見守り活動を行っていたことなどが報告されました。





会場となった吹田市文化会館中ホールには、多くの民生委員・児童委員が出席。会長やパネラーの皆さんの話に真剣に耳を傾けるとともに、活動にたいして気持ちを新たにしていました。



平成24年度の福祉バザーの収益金は岩手県大槌町に寄付。感謝状が寄せられました。

災害時の活動への 認識を新たに

また、被災地の民生委員・児童委員が直面している課題として、欠員や委員の転居に伴って担当地区に変更が生じ、新たな人間関係づくりに苦慮していることや、個人情報保護のため自治体から仮設住宅世帯の情報が提供されず、見守り・支援活動に支障が起きていることなどを報告。松橋会長は「まず自らの安全を確保し、支援活動をするのが基本。災害時には、生活支援活動や相談支援の窓口としての働きかけが求められるため、日頃から災害時要援護者支援活動について考え、認識を深めて欲しい」とまとめました。

リレートークには、社会福祉法人 さつき福祉会の鈴木英夫理事長や吹田市社協の広田倫久地域福祉課長、吹田市の木戸誠危機管理室長、吹田市民児協の藤原修身氏が登場。それぞれ、民生委員には災害時における要援護者への支援や地域の復興のリー

ダーとしての役割を期待しているとの意見が述べられました。

災害対策を見直し、 強化を図る

また、吹田市民児協では、30年以上にわたって福祉バザーを開催しており、収益は吹田市内の福祉施設に寄付するなど、障がい者支援などに役立てています。平成23年・24年は東日本大震災復興支援を目的に行われ、平成23年には61万9,085円を日本赤十字に、平成24年は54万257円を岩手県上閉伊郡大槌町に寄付しました。

今後の活動について松橋会長は、「特に障がい者支援に関する取り組みを強化する必要がある

る。個人情報保護などの問題は

あるが、社協や行政の協力を得ながら取り組みたい。東日本大震災では、民生委員の訪問活動が平常時以上に、住民に安心感を与えていた。これまで以上に声かけ訪問を続けていきたい。また、自主防災組織と情報交換することで最新の情報を把握し、要援護者台帳をどんどん更新したい。災害時に福祉マップや災害マニュアルが本当に有効なのかの見直しも進める。民生委員の欠員の問題もあるが、各地区で民生委員が助け合いながら活動していきたい」と話します。吹田市民児協では災害時の支援活動をより充実させるため、行政や関係機関と協働しながら取り組みを進捗させていく予定です。



吹田市民児協では、毎年福祉バザーを開催。35回目となった平成24年度は千里市民センターで行われ、来場者の長い列ができるほど大盛況となりました。

民生委員・児童委員が活動しやすくなるために



第7回 ～門真市民児協～

会議の様子



平成25年12月に民生委員・児童委員の一斉改選を控えた今、新任委員の人材育成を視野に入れたフォローアップ体制の充実を目指した取り組みが重要となっています。

今回は、民生委員児童委員活動を円滑に進めるための手助けとして、マニュアル作成に取り組んでいる門真市民児協取材しました。

民生委員の フォローアップ 体制の充実を目指す

門真市民児協では、平成25年の一斉改選に向け「門真市民生委員・児童委員活動マニュアル」を作成しました。

これまで門真市民児協には、民生委員活動をまとめたマニュアルがありませんでした。民生委員活動が多岐にわたる中、「手引き」として二冊にまとめようとマニュアルの作成を企画。新任委員が二日も早く民生委員活動に取り組む手助けとなる内容にすることはもちろん、現任委員も現在の制度を再確認できるマニュアルを目的として、広報委員会が中心となって内容を検討しました。

マニュアルには、民生委員制度の歴史から活動の詳細、関係書類の書き方や活動の留意点など、民生委員・児童委員活動にまつわるあらゆる情報を掲載。特に門真市の福祉施策事業の中でも民生委員と関わりの深い事業を紹介するなど、門真市民児協独自の状況を盛り込んだ内容とするよう工夫しています。

使いやすいマニュアル とするために

また、門真市独自の新任委員研修は伝達式当日に行うのみであったことから、このマニュアルを新任委員研修を補足するものとして位置づけました。不安な新任委員はもちろん、すべての民生委員がマニュアルを活用することでやりがいを持って活動に取り組めるような内容とするべく、広報委員会では意見交換を重ねました。

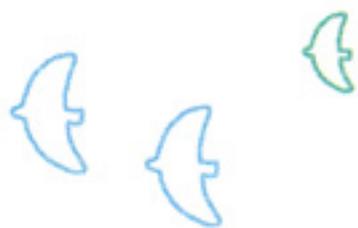
会議では、「2色刷りだと読みやすい」「文字ばかりではなく、イラストやレイアウトを工夫して、読みやすく」「新任委員だけでなく福祉票導入以前からの民生委員は、意外と福祉票の書き方や活用方法を知らない、記入例はぜひ入れるべき」「福祉票は人によって使い方がまちまち。マニュアルで記入法や活用法を統一させておく」と、引き継ぎ時にも役立つ「Q&Aを充実させるとわかりやすい」など、各委員からさまざまな意見が寄せられました。

楽しく民生委員活動 ができる環境づくりを

門真市民児協では、広報委員会が出たさまざまな意見を元に内容の見直しを進め、「門真市民生委員・児童委員活動マニュアル」を完成させました。出来上がったマニュアルは個人が民生委員活動について随時確認することはもちろん、各地区でマニュアルを教材とした勉強会を開催することも企画しています。

「新任の委員は最初、何事も緊張しているし、地域の方々と信頼関係を築くまで時間もかかる。初めは隣の委員に協力を仰ぎながら活動できるような環境をつくりたい。また、こうしたマニュアルなどで民生委員の活動を勉強し、役割を理解すれば、楽しく民生委員の活動ができると思う」と門真市民児協の古兼会長は話していました。





民児協だより

キレイなおはじきにもう夢中



ふれあい伝承遊び

〔北摂ブロック〕

摂津市

摂津市民生児童委員協議会では、5つの中学校区ごとに地域に密着した独自の活動を展開しています。

第二中学校地区では、毎年1月に地区内の小学校を訪問し一年生と伝承遊びなどで世代間交流を進めています。

民生児童委員・主任児童

委員26名がそれぞれに自分の得意な遊びを数名の班に分かれて教室や渡り廊下に陣取り、100数名の子どもたちと挨拶を交わした後、各班に分かれて一緒に遊びます。福笑い、羽根つき、コマ回し、とうりゃんせ、かごめかごめ、けん玉、お手玉と、私たちにとっては子どもたちの遊んだ懐かしい遊びも、子どもたちには新鮮で珍しい初めての体験となりました。

子どもたちは、われ先にと駆け寄り、「どうして使うの?」「どんな遊び?」と興味津々。飲み込みも早く、30分もすれば得意満面に私たちに教えようとするなど、昔も今も子ども心は一緒だなあと気持ち安らぎました。

忘れられかけている昔ながらの遊びに子どもたち以上に興奮し、楽しんだのは私たちだったのかも知れません



つぎは顔のどの部分かなあ

が、伝承遊びを子どもたちとのコミュニケーションツールとして心のふれあうひとときを持つことができたのは貴重な体験で意義深いことです。小さな取り組みですが、これからも続けていくことができればと思います。

摂津市民児協

〔民児協だより〕

〔河北ブロック〕守口市

三世代間交流事業

「三世代ふれあいつ子」

守口市民児協は、民生委員・児童委員255人が、企画、生活福祉、児童福祉、障がい・高齢者福祉、広報・調査の5部会に分かれて活動しています。今回は、児童福祉部会の「三世代間交流事業」について紹介します。

この事業は、平成10年度から始まり、23年度から親しみやすいように愛称を「三世代ふれあいつ子」としました。部会委員が早くからその内容やアイデアを出し合い工夫し準備を進め、地区福祉委員、地域の各種団体からも積極的な協力を頂いて行っています。

工作コーナーには、折り紙・ふわふわビーズ・牛乳パックを使ったペン立て・ストロートンボ作りがあり、あそびコーナーでは、カルタ・トランプ・昔あそび・将棋・マジック等があります。参加者は、地域の幼児・小学生と保護者、それに人生経験豊かなおじいちゃん・おばあちゃんです。開会後はすぐに思い思いのコーナーへ行き、会場はたちまちにしてにぎやかな声に包ま

れました。こま回しでは、民生委員・保護者・児童での勝負があり、将棋ではおじいちゃんとおばあちゃんとの対局で熱戦が見られました。

帰りには、自分の作品で両手がいっぱいになり、「おっちゃん、おもしろかったなあ。またしような」と楽しんでくれた様子。高齢者からは「子どもの頃を思い出しました」との声を頂きました。私たちは「子どもたちの喜ぶ顔が見たい」思いを胸に、今後もこの事業を続けていきたいです。

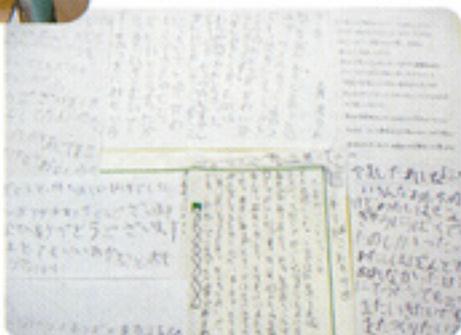
守口市民児協 広報・調査部会



今年度は七夕に開催しました



うれしいお手紙をいただきました



上手につくれたね



「河南ブロック」八尾市

「民生委員児童委員の日」 における市民へのPR

八尾市民児協には加賀会長以下16地区に390名余りの委員が所属しています。

本民児協では、毎年5月、市民に日常の活動を広く知っていただくようと、市役所ロビーにて活動展を開催し、訪れた市民の質問にお答えしたり、説明をしてきました。

今年はこの活動展を5月15日、アリオ八尾にて実施しました。従来の市役所ロビーとは雰囲気も違い、多くの若い家族連れとも接し、子どもたちには人気のバルーンアートで喜んでいただきました。

展示内容は、民生委員児童委員の役割・地域における「ひとり暮らし高齢者」「障がい者」等の見守りと支援、「幼児とお母さん達」への支援活動です。

子育て支援のひとつであ



もしもの時に安心な
救急医療情報キット
(八尾市民用)

る「はとぼっば」は、八尾市内に11か所あり毎月1回の開催を基本に行っている本民児協が力を入れている活動で、子育て中のお母さん達に喜んでいただいています。また今年2月から本民児協で取り組んでいる「救急医療情報キット」のひとり暮らし高齢者への配付事業は、当事者はもちろん、親族の方、救急医療関係者などにも大変喜ばれています。

これからも委員一同、力を合わせて民生委員児童委員活動に頑張っていきたいと思っています。

八尾市民児協

河南ブロック 合同研修会

東日本大震災・台風12号災害から見えてきた民生委員の役割と他団体との連携

11月16日、太子町・河南町・千早赤阪村民児協が合同で、「平成24年度大阪府民生委員児童委員協議会連合会 河南ブロック合同研修会」を、河南町立総合体育館ふくホールで開催いたしました。

研修会では、災害発生時における被害状況の報告と災害時要援護者を地域で支える重要さについて、関西大学藤原隆弘氏から講演がありました。その後3町村の代表者より、これまでの災害時における取り組みについて報告がありました。3町村共通するところは、山間部であり土砂災害が一番心配である。災害が発生すれば、まず自助そして共助である。地域の各団体や隣近所とのつながりが大事であるなど、ご講演いただいた藤原氏と意見が交わされました。

今後、災害発生時に情報が入らない災害時保護者の把握と地域内の連携強化をどのようにしていくかなど、新たな課題となりました。



講師と代表者によるディスカッションの様子

上演年	演目名
平成12年	金色夜叉
13年	その後の貫一・お宮
14年	歌謡劇場「幼なじみ」
15年	瞼の母
16年	水戸黄門～熊取旅路
17年	悪徳業者にだまされないで
18年	オカリナと共演
19年	愛染かつら
20年	清水次郎長伝
21年	浦島太郎
22年	義経と弁慶
23年	なでしこ桃太郎
24年	忠臣蔵 前編

民児協だより



熊取町民児協では、五つの小学校区（中央・東・西・南・北）ごとに、いろいろな活動を展開しています。その一環として、校区福祉委員会（社協）が主催する「ふれあいの集い」に民児協も協力・参加しています。中でも、中央小学校区では毎年10月の日曜日、招待した約300人の高齢者を

【泉州ブロック】熊取町
高齢者ふれあいの集いで
寸劇上演を13年間

前に、30分程度の寸劇を上演しています。

毎年7月から準備にとりかかり、演目選び・台本の作成・道具作り・衣装作りなど全て自分たちで運営しています。特に演目選びが一番大変で、招待者を楽しんでもらえるように、みんなで工夫しているとのこと。

招待者から「来年も楽しみにしている」「衣装が良かった」などの声を聞くと、委員一同「来年も寸劇の上演にがんばろう！」の思いを新たにされている、と校区民生児童委員長は話していました。

熊取町民児協
広報部会



第13回「忠臣蔵 前編」衣装も演技も役者顔負け



第1回ふれあいの集いで「金色夜叉」を演じる民生委員

〔中核ブロック〕高槻市

アートバルーン講習会

「こども映画会」入場門飾り付け



平成24年度事業「こども映画会」が5月5日、高槻現代劇場大ホールにおいて、たくさんのご家族の参加を得て、盛大に開かれました。その際、入場門の飾り付けとして「アートバルーン」を行ったところ、好評でバルーンを持ち帰りたいという希望者が大勢いたため、対応策を考えました。

次回、映画会を実施する際には来場されたご家族にバルーンをお渡しできるよう、10月22日に「こども家庭福祉部会」が主体となり、講師の方をお願いして「アートバルーン制作実技講習会」を開きました。

講習会ではまず、風船を

軽く引っ張り、ポンプで空気を注入することや、作りたい形により先端を残しておいて空気を入れるといった、基本からの注意点を学びました。

輪、剣、ねずみ、キリン、うさぎ、花などを作り、風船が割れる音にビックリしつつ、簡単そうに思われる作業が難しいことを実感しながら、楽しく講習会は終わりました。

「時間があれば」といろいろな作品のレジュメが配付され、ぜひ作ってみたいと思えました。また、来年の映画会をより賑やかに実施したいと考えています。

高槻市民見協
福田 雅夫



アートバルーン講習会

表紙の作品と作者

●社会福祉法人 大阪府肢体不自由者協会●

交野自立センター内 「おり姫ベーカリー」 のみなさん

交野市

工房で次々と焼き上がる、おいしそうなパンの数々。このパンは、交野市にある障がい者支援施設・交野自立センター内の「おり姫ベーカリー」で製造・販売しているものです。

おり姫ベーカリーがスタートしたのは、平成23年4月のこと。交野自立センターでは長年、パナソニック株式会社の下請け作業を行っていましたが、自主製品も手掛けようとパンづくりを始めました。おり姫ベーカリーの特徴は、山崎製パン株式会社から技術供与を受けている点。パン事業を始めるにあたり、職員が10日間にわたって同社で研修を受講し、パンづくりの工程を習得。その後も2カ月に一度は研修を受講し、新しいパンのレシピを学んでいるのだそう。小麦粉などの材料も山崎製パンから供給されています。「素人考えですぐできると思っていたけど、実際やってみるとなかなか大変でした」と所長代理の田中さんは話します。



昼の販売に向け、衛生的な厨房で次々とパンを作っていきます。



(写真左)袋詰めしたパンに値札シールを貼る利用者さん。(写真右)おり姫ベーカリーのパンはカフェチアーズで購入することができます。

パンづくりは、職員3名と入所部の利用者さん5名が担当。常時40種類、個数にして500個ほどのパンを月曜から金曜までの毎日焼いているそうで、取材当日もみなさん流れるようなスピードでそれぞれの作業に取り組んでいました。

石板を使用したフランス製の本格窯で焼くパンは、交野自立センターのほか、交野市役所などの市内施設で販売しており、いつも完売するのだとか。「あんパンやクリームパン、ジャンボドーナツなどが定番人気ですね」と田中さん。通所部が平成23年11月、交野市役所近くにオープンしたカフェ「チアーズ」でも販売しており、「長年下請け作業中心で外部との交流がなかったのですが、パン事業やカフェを始めてから地域のみなさんとつながりができた」といいます。地域のイベントで販売する機会も多いそうで、交野ではすっかりおなじみになっている様子がうかがえました。

＊お問い合わせ先＊

〒576-0063

交野市寺4-590-1

TEL.072-893-4523

FAX.072-893-4524



編集後記

東日本大震災から約2年が経過しようとするなか、なおも避難生活を続ける人々が東北3県を中心に多数おられます。また、被災地で活躍する民生委員・児童委員の負担も日に日に厳しさを増しています。被災地が一日も早く復興されるよう大阪府民児協連においても継続した支援に取り組んでまいりますのでご協力のほど宜しくお願い致します。

まだまだ寒い日は続きますがご自愛ください。

Well つエル おおさか vol.28
(通巻62号)

発行日:平成25年2月

発行:大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局:大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyoo.or.jp/minkyoo/>



この冊子は再生紙を使用しています。